

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	切除不能膵癌における化学療法導入時の栄養・炎症・免疫状態と予後との関連を検証する単施設後方視的研究(B25-003)
当院の研究責任者 (所属・職位)	消化器内科学・助教 玉置明寛
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	膵臓がんは、予後不良ながんの一つです。切除不能膵がんに対する治療法としては化学療法が行われますが依然として治療効果は不十分であり、膵がんの生存期間を延ばすには、早期発見に加えて化学療法の発展が不可欠な状況です。 近年、CRP-アルブミン比(CRP/Alb)や好中球-リンパ球数比(NLR)、血清アルブミン値と末梢血総リンパ球数による予後予測指標(PNI)、血小板-リンパ球比(PLR)、血清アルブミン値とC反応性タンパク質値によるがん悪液質状態のスコア値(m-GPS)などの栄養や炎症、免疫状態に基づくスコアが、様々な悪性腫瘍における予後バイオマーカーとして着目されていますが、切除不能膵がんにおいての検討は多くありません。 そこで当院において、切除不能膵がんに対する化学療法導入時の栄養、炎症、免疫状態に基づくスコアと予後との関連を検証することを目的に本研究を立案しました。
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2025年1月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2015年1月1日から2023年12月31日までの期間に北里大学病院消化器内科で切除不能膵癌に対して化学療法を実施した患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	2015年1月1日から2025年1月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:消化器内科学・助教 担 当 者:玉置 明寛(タマキ アキヒロ) 電 話:042-778-8111
備 考	